

北海道大学病院呼吸器外科に通院・入院中もしくは過去に通院・入院  
されていた患者さんまたはご家族の方へ  
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報と検体を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号)の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 気管支喘息における肺実質障害に関する研究

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 渥美 達也

[研究責任者名・所属]

清水 薫子・北海道大学病院 呼吸器内科/男女共同参画推進室 特任助教

[研究の目的]

肺切除を行った患者さんのうち、その原因病変以外には、呼吸器の疾患を持たない方、または喘息、慢性閉塞性肺疾患(COPD)を合併する方の術前CTや切除肺検体を用いて肺実質障害の比較検討を行う。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

北海道大学病院呼吸器外科において、2006年から2021年11月30日の間で肺癌等局所病変のため区域以上の肺切除を行った患者を対象とする。

○利用する情報・検体

- ① 背景情報
- ② 尿・採血結果
- ③ 呼吸機能検査結果、呼気中一酸化窒素濃度
- ④ 喘息症状に関わるテスト (asthma control test)
- ⑤ 胸部レントゲン写真
- ⑥ 胸腹部CT
- ⑦ 切除肺検体

\*尚、上記のうちCT画像を含む一部の情報は、CT画像における肺の障害に関する解析のために、京都大学呼吸器内科学教室に郵送で送付します。

[研究実施期間]

実施許可日～2026年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

\*上記の研究に情報・検体を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院呼吸器内科 担当医師 清水 薫子

電話 011-706-5911 FAX 011-706-7899